令和８年度　　膳所高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・よりよい未来の創造に貢献できるリーダーとしての資質・能力を育成する。
・基礎基本を大切にし、深い思考力と豊かな教養を身につけながら、自ら学び、自ら考え、自ら行動する力が育つ環境を提供する。
・主体的に学習や課外活動に取り組む意欲を持ち、人としての成長を目指して行動する力を育成する。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	学校の教育方針や教育目標、教育活動について理解が得られるようわかりやすく説明している。	A		
	学校の教育方針や教育目標が実現できるよう具体的な取組を進めている。	A		
2　学習指導	各教科、各学年で到達目標を設定し、その達成に向けて学習指導の工夫、改善を行っている。	A		
	アンケートなどを実施し、教科指導力および授業力の向上に努めている。	A		
3　生徒指導	相手を思いやる態度を育て、相互の信頼を深めることで良好な人間関係を築くよう指導している。	A		
	挨拶をすることや時間を守る指導などを通して、基本的な生活習慣の確立に努めている。	A		
	アンケートや個別面談を通して、いじめの未然防止、早期発見、迅速な対応を行っている。	A		
4　進路指導	進路指導が計画的に行われており、進路希望を実現しようとする意欲を高めている。	A		
	生徒の進路選択に役立つように適切な情報の提供や資料作成に努めている。	A		
	ＳＳＨや高大連携事業で学問への意欲・関心を喚起し、主体的な進路選択の意識を高めている。	A		
5　特別活動等	湖風祭や部活動などの自主活動を通して、生徒の主体性を育てている。	A		
	多様な活動に取り組めるよう時間の使い方や活動内容について配慮している。	A		
6　学校図書館	図書に関するわかりやすくていねいな情報を提供し、生徒の図書館利用を促進するよう努めている。	A		
	アンケート等を通して、生徒のニーズに基づいた図書館の整備等に努めている。	A		
7　保健・安全指導	健康・安全に対する意識を高めるよう、機会をとらえて情報を提供している。	A		
	生徒の事故、けが、病気等が発生したとき、病院や保護者と連絡、調整するなど適切に対処している。	A		
8　人権教育	一人ひとりがお互いに尊重し、信頼されるクラスや学校づくりに努めている。	A		
	人権統一ＬＨＲの取組やクラス人権委員の活動を通して、生徒の人権意識を高める指導に努めている。	A		
9　環境教育	日常の掃除や大掃除・地域清掃活動などを通して、生徒の美化意識を高めるよう努めている。	A		
	ゴミの減量や分別回収の徹底を図ることで、環境保全・よりよい環境作りへの意識を高めている。	A		
10　事務・管理	教育環境を良好に保つため、施設、設備の整備、充実、改善に努めている。	A		
11　その他 学校の取組	土曜日企画により自学自習を支援し、主体的な学習活動の確立に努めている。	A		
	ホームページ等を活用し、教育活動や生徒の学校生活についての情報発信に努めている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：https://www.zeze-h.shiga-ec.ed.jp